



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
—思いやり・やる気・たくましさ—

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 7 号
令和 元年 6月14日



都市ボランティア講座を行いました

教務主任 _____

6月11日（火）の5・6校時に、千葉市総合政策局オリンピック・パラリンピック振興課のご協力をいただき、本校の2年生が都市ボランティア講座を受講しました。

まず、振興課の職員の方にオリンピック・パラリンピックの概要について説明していただいたあと、車いす陸上競技で3回のパラリンピック出場経験のある千葉祇暉様のお話を聞きました。車いす生活の不自由さや競技の大変さもさることながら、偏見からくる周囲の視線や、困っていても気づいてもらえない時の苦勞についてのお話が心に響きました。

そのあと、用意していただいた10台の車いすを使い、生徒一人一人が車いす乗車体験をしました。生徒の感想を数名分、以下に紹介しますが、「自分で～～するようにしたい」という感想が多かったのが印象的でした。きっと、今後の実際の行動に結びついてくれることでしょう。



お話を聴いて、私たちが普段の生活の中で感じる事ができない、車いすだから感じる事ができる日本人の不親切さや施設の不便さなど、いろいろな事を知る事ができました。

私は千葉さんの話を聞いて、これから困っている人を見かけたら、すぐに助けられるようにしたいと思いました。そして、パラリンピックに向けて、自分にできることを探して、実行していきたいです。

(1組 _____)



私は、いままで人を助けることを自分の中ではやっていたつもりだったが、千葉さんの話を聞いて、まだまだ助けられることもあるし、困っている人に声をかけるだけでも、その人が安心できるんじゃないかと思いました。今まで、私自身「障害者の人」と言っていました。今日の話聞いて、その障害を作っているのは、この社会なのではないかと思いました。障害を取り除くことができたとき、はじめて日本人に心のおもてなしが生まれるだと思います。

(2組 _____)

僕は、正座で車いすを乗車させていただきました。いつも僕は当たり前のように歩いていて、車いすの人の事など考えた事が無かったのですが、この体験を通じて、車いすの人の気持ちや、どれだけ大変なことか等を学ばせていただきました。けれど、僕は車いすに乗車したとき、「すごく楽しい」と感じてしまいました。いつも車いすでは生活していません。珍しいものなので、正直、楽しかったです。ですが、毎日がこの生活であると考えたら、つらく、大変だということを感じることができました。



(3組 _____)

私が千葉さんの話の中で一番印象にのみこっているのは、「後ろを向いても歩けるようになる訳じゃないんだから、前向いて歩いて行った方が良いじゃん」という一言です。

私は、すぐに人の目を気にして、自分が思っていることを言わないことが多いです。今回の都市ボランティア講座での千葉さんを見て、私も素直に思ったことを言える人になりたいと思いました。車いすを4人で息を合わせて安全に持ち上げる体験も、とても貴重なものでした。

(4組 _____)

僕は、千葉さんの話を聞いて、涙が出そうなくらい素晴らしいお話だと思いました。自分たちは何も不自由なことがなく、階段などを上がったたり下がったりしていましたが、日本は「おもてなし」等と言う割には、全然できていません。

千葉さんみたいな人が、このような活動をしていてくれることはすごいなあと思いました。僕はこの講話を聞いて、今後、困っていそうな人には、少しでもできることを考え、全力で助け合い、全国の人達で、より良い日本にしていきたいです。



車いす体験をして、感じた事は、とにかく、一人でできていたことがまったくできなく、人を頼らないと何もできないような状態になってしまうことです。普通に歩けばたった一秒でできることが、人の手を借りる事によって、手伝っている人も、手伝ってもにっている人も時間がかかってしまいます。でも、千葉さんのようにできることを自分で探そうという気持ちになれば、どんなことでもできるし、今までできなかったこともできるようになるんじゃないかなと思いました。

(5組 _____)

お知らせ

最近の報道でも話題になっていますが、水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わりました。千葉市からも、周知の要請がありましたのでお知らせします。

詳細は、本日配布致しました別紙資料をご覧ください。起きないですんでほしい災害ですが、万が一の場合の備えはあった方が良いでしょう。ご家庭でも、ぜひ話題にさせていただけたらと思います。

警戒レベル **4** で全員避難!!

警戒レベル	避難行動等	避難情報等	【警戒レベル相当情報(例)】
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	災害発生情報 ^{※2} <small>※2 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令(市町村が発令)</small>	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 等
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難 しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 ^{※3} 避難指示(緊急) <small>※3 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令(市町村が発令)</small>	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 (市町村が発令)	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警報 等
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)	これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)	

(国土交通省、気象庁、都道府県が発表)

校報「若松中だより 第7号」をお届けします。ご意見やご感想を広く募集しております。お気づきの点等ございましたら、下記までご連絡ください。

(千葉市立若松中学校 校長：古市 直彦 ☎043-232-6125)